

第二次霧島市総合計画(後期基本計画)施策評価シート

令和6年度

政策	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)	SDGs	     
施策	3. 快適生活の基盤づくりの推進		

施策で目指す姿

- 住環境の計画的な整備を推進し、市民が快適さと暮らしやすさを実感し、安心して住み続けられるまちを目指します。
- 幹線道路のバイパス整備、地域の拠点施設を結ぶアクセス道路の整備など、市内の道路網の強化や円滑な交通環境の確保を目指します。
- 社会情勢の変化に適応しながら、自然や産業等、地域の特性を生かした土地利用、景観の形成を図ることで、安全・快適に生活し続けられるまちを目指します。
- 上下水道施設等の計画的な整備・改修、耐震化等や、適切な排水処理施設への転換・接続を図り、水の安定供給と適正な排水処理を目指します。

基本事業における成果・課題・改善策

1. 良質な住環境の整備		決算額	1,660,591千円
令和6年度の事業成果	令和6年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和7年度以降の改善策	
● 外壁等の改修(安全性確保)を3棟、老朽化した設備等の改修(居住性向上)を1棟行うことにより、市営住宅の長寿命化(耐久性向上等)が図られ、居住水準の向上を図ることができた。 ● 複合遊具の更新や丸岡公園ゴーカートコースの延伸を行い、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを推進した。 ● 土地区画整理事業区域内の工事等を行い、事業の進捗を図った。 ● 木造住宅2棟に対し、耐震改修費用の助成を行い、耐震性が確保された。	● 限られた予算で引き続き、安全性の確保、居住性向上等の整備を行うとともに市営住宅の長寿命化を図る。 ● 交付金の配分額が年々、低下しているため、長寿命化計画どおりに事業が進まないのが現状である。 ● 城山公園においては、駐車場の確保について、指定管理者含め協議が必要。 ● 交付金等の財源確保に努め、引き続き面整備の推進を図る必要がある。 ● 今後も建築物の耐震化の普及啓発を行う。	● 改善を必要とする棟数が多いため、霧島市公営住宅等長寿命化計画に基づき、外壁と居住性向上(給水・給湯設備の改修や電源改修)の改修時期を検討する。 ● 交付金等の財源確保に努め、限られた予算を有効活用し、市営住宅の長寿命化、公園施設の更新、土地区画整理事業の推進等を引き続き図る。	
2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持		決算額	1,967,613千円
令和6年度の事業成果	令和6年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和7年度以降の改善策	
● 都市計画道路新川北線や第2国分上小川工業団地周辺道路が完了し、その他事業中の路線についても、事業の進捗が図られた。 ● 限られた予算の中で、道路維持管理に努めた。	● 国、県、始良市、民間企業と連携し市内の渋滞解消に向けた取組みを行ったが抜本的な解決には至っていない。 ● 道路施設の老朽化が進む中、適切な維持管理が求められている。 ● 道路整備の主な財源であった合併特例債が7年度までであるため、新たな財源確保が必要となる。	● 6年度に実施した渋滞基礎調査を基に庁内で協議を進め、渋滞対策について推進する。 ● 事業中路線の整備を進め、市内の道路網の強化や円滑な交通環境の確保を目指す。 ● 道路施設の適切な維持管理に努め、生活環境の改善に努める。	
3. 計画的な土地の活用と良好な景観づくり		決算額	760,060千円
令和6年度の事業成果	令和6年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和7年度以降の改善策	
● 鹿児島県都市計画区域マスタープランの変更を行った。 ● 土地利用協議や屋外広告物申請を適切に審査し、無秩序な開発を防止、良好な景観の保全ができた。 ● 空家の適正管理の普及啓発の実施や老朽化した危険な空家の除却費用の一部を助成し、21棟の老朽化した危険な家屋が解体された。 ● 大迫馬場線や隼人駅東西自由通路の整備を進めたほか、リノベーションスクールを開催し、快適な駅前空間の形成やまちづくり人材の育成を図った。	● 土地活用に伴う開発行為の事前相談が増加しており、その一部は実際に大規模開発等が実施され、審査、監理、検査に多くの時間を費やしている。 ● 屋外広告物申請が年々増加しており、また多様化している。 ● 協定を締結した民間企業のサービスを活用しながら、更なる空家の適正管理の普及啓発を行う必要がある。 ● 中心市街地において、空き店舗が増加するなど求心力が低下している。	● 引き続き、土地利用協議や屋外広告物申請を適切に審査する。また、違反広告物の巡回に努める。 ● 今後も空家の適正管理の普及啓発を行い、併せて、撤去補助制度を活用し、危険家屋の解体を進める。 ● まちの活性化に向け、利便性及び快適性の向上に資する都市基盤施設の整備を進める。	
4. 水の安定供給と適正な排水処理		決算額	968,626千円
令和6年度の事業成果	令和6年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和7年度以降の改善策	
● 下水道の整備については、工事を進めたことで、整備面積を5.4ha広げることができた。	● 下水道事業については、社会経済状況の変化等により計画通りの整備が進まず、当初の事業計画に対して遅れが生じている。そのため、2021年(令和3年)10月に改定した「霧島市下水道事業経営戦略」及び2019年(平成31年)3月に県が策定した「かごしま生活排水処理構想2019」等を踏まえる必要がある。	● 下水道事業の適正かつ合理的な運営及び健全な経営に務めると共に、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上を図り、公共用水域の水質の保全に資するため、計画的に整備及び施設の維持管理を行う。 ● 老朽化した処理場設備の更新のため、下水道事業全体の最適な維持管理・改築計画であるストックマネジメント実施設計を進めている。	

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
29. ゆとりある住みやすいまちであると感じている市民の割合	市民意識調査	-%	-	未把握
		66.8%	↑	
30. 都市公園内の更新・新設した公園施設数(累計)	建設施設管理課所管の公園施設の整備状況(N-1)	43件	144.44%	年3件程度の整備を目指していたが、目標以上の整備を行うことができた。
		35件	↑	
31. 市道の改良率	市道の規格改良済の延長／実延長(N-1)	48.5%	33.33%	0.1ポイントの増加となり、目標どおりとなった。
		48.9%	↑	
32. 地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合	市民意識調査	-%	-	未把握
		50%	↑	
33. 生活排水処理率	市生活排水対策推進計画(下水道接続人数＋合併処理浄化槽接続人数)／総人口(N-1)	85.2%	52.22%	下水道への接続については、住民等に工事説明会等で下水道の利点を説明し、接続を促した。
		89.5%	↑	

改善策を踏まえた施策としての取組方針
安心して住み続けられるまちを目指すためには、交付金等の財源確保に努めつつ、市営住宅の長寿命化や公園施設の更新等を適切な時期に実施していく必要がある。 円滑な交通環境の確保を目指すために、令和6年度に実施した渋滞基礎調査の結果を踏まえ、国や県、周辺自治体、民間企業と連携し市内の渋滞対策を推進する。 安全・快適に生活し続けられるまちを目指すために、民間企業と連携した空家管理等による地域に合った景観整備、また、まちの活性化を目指すまちづくり人材の育成が重要である。 水の安定供給と適正な排水処理を目指すために、公共用水域の水質保全に努め、老朽化した施設の計画的更新が必要である。

施策幹事課	関係課
建設部建設政策課	総務部財産管理課 / 企画部DX推進課 / 市民環境部市民活動推進課 / 市民環境部環境衛生課 / 農林水産部林務水産課 / 商工観光部商工観光施設課 / 建設部建設施設管理課 / 建設部土木課 / 建設部建築住宅課 / 建設部建築指導課 / 建設部都市計画課 / 建設部区画整理課 / 霧島総合支所市民生活課